

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0101	政策名	農林業の振興	施策主管課	農政課	課長名	及川 盛敬
------	------	-----	--------	-------	-----	-----	-------

政策の目指す姿	農林業者が安定した所得を確保しています
---------	---------------------

施策No	01	施策名	農業生産の支援	関係課名	農村林務課、定住推進課
------	----	-----	---------	------	-------------

施策の目指す姿	収益性の高い農畜産物を生産しています
---------	--------------------

現状と課題

- 【現状】**
- ・農業従事者の減少や高齢化に伴い、農畜産物の生産量の減少が懸念されています。
 - ・中山間地域等の生産条件不利地を中心に、高収益作物への作付転換が進まず、生産コストの低減が十分に図られていないため、補助金等で農家収入を確保している状況にあります。
 - ・農業法人の規模拡大により、作業が同じ時期に重複する状況にあります。
 - ・野生鳥獣の生息区域の拡大とともに、農作物の被害が増加傾向にあります。
- 【課題】**
- ・人手不足に対応した生産コストの低減のため、情報通信技術（ICT）の導入を図る必要があります。
 - ・農地中間管理事業者を活用し、集積された農地の地理的な集約化を図る必要があります。
 - ・作期分散や所得向上のため新たな品目の導入を図る必要があります。
 - ・花巻産農畜産物の優位性や特徴を活かしたPRと消費拡大を図る必要があります。
 - ・野生鳥獣の被害対策を図る必要があります。

前年度の評価の振り返り

- 前年度評価時の今後の方向性
- ・振興作物の作付拡大と労働力確保に向けた、地域での話し合いや農業団体が新たに開設する無料職業紹介所を利用した農業経営体と担い手農業者以外の農村居住者（非農家、土地持ち非農家等）とのマッチング、ICTを含めた園芸作物の機械化体系の導入について市内農機具メーカーから農業改良普及センターと協議する。
 - ・農業法人の規模拡大により、作業が同じ時期に重複することから、作期分散のための多様な品種の導入について農業団体や農業改良普及センターと連携、協議しながら進める。
 - ・生産コストの低減などを図るためのICT関連技術の活用や更なる導入に向けた支援の拡充について関係機関や農業者と協議しながら検討する。

反映状況

- ・農業団体が行う無料職業紹介所事業を活用しながら、市内農業法人をはじめとした担い手農業者や集落営農組織が求める労働力確保のため、市HPにリンクページを掲載し求人情報の周知を行い136件のマッチングにつながった。
- ・農業法人の規模拡大により、作業が同じ時期に重複することから、適期作業が行える作期分散のための作物・品種の多様化や新たな作物が徐々に導入が進んできている。
- ・省力化やコスト低減のためのICTを活用したスマート農業について、体験試乗会等で市内の農業経営体に広く周知する機会を設けるとともに機器導入補助の対象に草刈りロボットやドローン教習費用を含めたほか、補助対象者に「人・農地プラン」の中心経営体を追加したため、導入経営体が確実に増えている。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

- (1) 農業生産の振興
 新技術、新品種導入実証ほ場の設置 ・ピーマン・きゅうりの新技術やりんごの有望品種の比較展示を実施 ICTを活用した農業経営支援の継続と内容の検討 ・ロボット草刈り機を支援内容に、支援対象に地域農業マスタープランの中心経営体や認定農業者等で組織する団体を追加 農地中間管理事業者を活用した農地集積・集約化の推進 ・事業を活用した担い手への新規集積面積177.5ha 中山間地域等生産条件不利地の生産活動支援 ・大沢・平良木・砂子地区のほ場整備事業を実施 土壌改良資材の投入による良食味米生産の支援 ・2,783農業経営体に補助を実施 家畜防疫や優良乳用牛確保による畜産経営基盤整備の確立支援 ・1,684頭への牛6種混合ワクチン接種と190頭への雌雄判定別精液利用に補助を実施
- (2) 農業経営の安定化支援
 水田農業を中心に野菜、果樹、花き、雑穀、畜産の生産拡大を図る各種補助制度の周知と利用促進 ・農業経営支援策活用ガイドの作成配布 りんごやぶどうをはじめとする収益性の高い振興作物の生産振興…苗木や資材への補助を117農業経営体を実施 農業制度資金の利子補給による経営安定化支援 ・397件に利子補給を実施 園芸作物、畜産物の出荷販売価格低下時の補償の支援 ・8,561千円の負担金支援 有害鳥獣の被害防止対策支援、追い払い・捕獲の実施 ・63件の電気柵に補助、1,790頭の有害鳥獣を捕獲
- (3) 農畜産物の消費拡大
 市内産地直売所の連携や朝ごはんプロジェクト等による産地地消の推進 ・産地直売所連絡協議会への補助金300千円、学校給食へのりんご4,604個提供 都市消費者との交流の推進 ・教育旅行受入22人、受入農家研修会4回 花巻農畜産物の安全性のPRと販売促進 ・コロナ禍によりトップセールス等開催不可 県や近隣市町村及び農業関係者等と連携した輸出促進策の検討 ・農業団体等との協議を継続

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04
振興作物の栽培面積	収益性の高い振興作物の生産状況を示す指標	出典：花巻市農業推進協議会（水田台帳）市と「A」いわて花巻が生産を振興（奨励）する作物。新規需要米等（飼料用米、米粉用米、加工用米、備蓄米）、小麦、大麦、大豆、雑穀、野菜（トマト、ミニトマト、きゅうり、なす、ピーマン、いちご、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、レタス、えだまめ、アスパラガス、しいたけ、たまねぎ）、花き（りんどう、小菊、切花）、果樹（りんご、ぶどう、洋なし、ブルーベリー）	ha	目標値	4,400.00	4,500.00	4,600.00	4,000.00	4,100.00	4,200.00
				実績値	4,027.00	3,921.00	3,971.00	3,953.00		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>成果指標「振興作物の栽培面積」…【達成度 b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営農座談会や農協生産部会等の機会を捉えて農家へ野菜等を中心に振興作物の作付を推進してきており、地域の話し合いにより策定された地域農業マスタープラン（人・農地プラン）に基づき農地が担い手へ集積されてきたことにより担い手の経営判断による振興作物の一定の作付面積が確保されているものの、市では平成30年からの国による米の生産数量目標の配分廃止に伴い、農業団体が主体となり転作過剰を解消するため県から示される米の生産目安の範囲内での主食用米の作付誘導を行ってきた。前年度より若干振興作物の作付面積が減ったのは、園芸作物の導入は労力を必要とすること、新型コロナウイルス感染症の影響で米価が下落したものの、転作作物の作付よりも機械化体系が整っている水稲生産の意識が高いことから振興作物の栽培面積増加につながらなかった。

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（有害鳥獣被害対策事業）捕獲単価の高上げや狩猟免許取得経費の支援による市鳥獣被害対策実施隊の人員確保 ・（園芸品目経営安定事業）市場価格低落の農業経営リスクを軽減する基金造成への支援 ・（農業振興対策事業）農業経営体の労働力確保に向けた農業団体が開設する「無料職業紹介所」との連携・支援 ・（都市農村交流推進事業）アフターコロナを見据えた事業の周知と大人を対象とする体験メニューの拡大 ・（水田農業経営安定事業）法人や集落型経営体での水田フル活用による振興作物を中心とした園芸作物導入への支援 ・（地産地消推進事業）地産地消推進のため販売品が少なくなる冬期間の産直施設の対応と集客力向上に向けた支援 ・（農畜産物生産向上事業）乳用牛群検定による優秀な乳用牛の選抜確保、畜産経営リスク軽減のための基金造成への支援 ・（家畜防疫対策事業）家畜の健康保持と生産性向上に資するワクチン接種の周知 ・（花き米生産確立支援事業）良食味米の生産のための土壌改良資材施用の利用拡大に向けた有効性の周知 ・（水産多面的機能発揮対策事業）淡水漁業者による稚魚放流等の活動の継続による多面的機能の発揮への支援
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（水田農業経営安定事業・スマートアグリ推進事業）農業の労働力不足解消に向けた対策が必要である。 ・（スマートアグリ推進事業）生産コスト削減、作業の効率化を図るため、実証事業と併せながら農業へのICT関連技術の周知・導入・普及をさらに推進する必要がある。

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・労働力の減少に伴い、他の作物と比較し労働力を必要とする園芸作物の生産減少が懸念されることから、ICT関連技術の導入や機械化を含めた新たな園芸振興策の検討が必要である。 ・規模拡大と労働力不足に伴い、適期の作業ができず生産される農作物の品質の低下を招くことが懸念されるため、作期分散のための複数品種の導入が必要である。 ・生産コストの削減のため、省力化技術の導入、経営分析の支援が必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・振興作物の作付拡大と労働力確保に向けた、地域での話し合いや農業団体が開設した無料職業紹介所を利用した農業経営体と担い手農業者以外の農村居住者（非農家、土地持ち非農業者）とのマッチング、ICTを含めた園芸作物の機械化体系の導入について市内農機具メーカーや農業改良普及センターと協議を行い、振興作物へのICT技術活用の実演等を行う。 ・農業法人の規模拡大により作業が同じ時期に重複することから、作期分散のための多様な品種の導入について農業団体や農業改良普及センターと連携し、モデル事業の課題の整理や効用の周知を行う。 ・省力化や生産コスト低減などを図るためICT関連技術の活用や更なる導入に向けた支援の拡充について関係機関や農業者と協議し、安価で導入が容易なICT機器の支援を行う。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
			直結度		
010	有害鳥獣被害対策事業費 農林産物や人身に対する被害の防止を図った。 (電気柵補助件数 63件、被害防止計画対象鳥獣捕獲頭数 1,790頭)	農村林務	間接・少数	直結	C
			B		
020	園芸品目経営安定事業費 青果物の価格安定に資する事業に対する負担金造成 (青果物出荷販売額(花巻農協)1,842百万円、野菜販売数量 420千ケース)	農政	一致	間接・補完	C
			B		
030	中山間地域農業支援事業費 中山間地域等農業生産不利地における集落協定に基づく農業生産活動を支援 (協定締結数 111組織、交付対象農用地面積 2,683ha)	農村林務	一致	直結	B
			A		
040	農業振興対策事業費 農業団体と連携した農業技術の普及等への支援及び経営安定のための借り入れた農業制度資金への利子補給 (JA農畜産物販売額 10,130百万円)	農政	一致	直結	C
			A		
050	地産地消推進事業費 魅力ある産直経営及び食品衛生法改正によるHACCPの講習会への支援 (産直での商品購入者数 875千人、講習会 1回)	農政	一致	直結	B
			A		
060	都市農村交流推進事業費 グリーンツーリズムの推進、市内及び首都圏の飲食店へ提供する宮沢賢治の童話にちなんだ料理等のメニュー案の監修 (教育旅行受入数 47人、農業体験ツアー参加者数 0人)	農政	一致	間接・補完	C
			B		
070	スマートアグリ推進事業費 ICT技術を活用した低コスト経営に向けた農業環境を整備 (研修会の参加者 330人、省力化技術の実証、農業用ICT機器の導入支援)	地域農業	一致	直結	A
			A		
080	農畜産物生産向上事業費 畜産物の価格安定に資する事業と家畜改良に資する事業に支援 (乳用牛群検定頭数 550頭、価格安定事業 養豚 28千頭・ブロイラー 652千羽)	農政	一致	直結	C
			A		
090	家畜防疫対策事業費 肉用牛・乳用牛の家畜伝染性疾患(呼吸器病)を未然に防ぐワクチン接種に支援 (牛6種混合ワクチン接種頭数 1,684頭)	農政	間接・少数	直結	C
			B		
100	優良乳用牛確保対策事業費 優良な後継雌牛を効率的に確保するため乳用牛の雌雄判定別精液利用に対する支援 (ホルスタイン種 178頭、ブラウンスイス種 12頭)	農政	一致	直結	B
			A		
110	肥育経営安定緊急支援事業 市内生産された子牛を肥育素牛として肥育後出荷した場合の支援、肉用牛肥育農家の経営安定に資する事業に対する支援(肥育素牛の導入頭数 160頭、牛マルキンの導入対象頭数 360頭)	農政	一致	直結	B
			A		
120	水田農業経営安定事業費 米の需給調整や経営所得安定制度の普及推進及び水田活用に向けた振興作物等の推進 (農畜産物販売額(花巻農協)10,130百万円、経営所得安定対策による交付金額2,219百万円)	農政	一致	直結	C
			A		
130	花巻米生産確立支援事業費 土づくりのためのケイ酸を含む土壌改良資材の投入に対する支援 (主食用米集荷数 541千袋)	農政	一致	直結	C
			A		
140	水産多面的機能発揮対策事業費 漁業者を中心とする組織が実施する環境・生態系維持のための活動に対して支援 (市内漁業協同組合受入遊漁料 1,654千円)	農政	間接・少数	間接・補完	C
			C		
150	繁殖経営安定緊急支援事業費 肉用牛繁殖農家の経営安定に資する支援 (肉用子牛対象頭数 675頭)	農政	一致	間接・補完	-
			B		
180	花巻米生産緊急支援事業費 新型コロナウイルス感染症による米価下落の影響を受ける主食用米の出荷に係る経費に対する支援 (認定方針作成者に参画し主食用米を作付している農業経営体 2,783件)	農政	一致	直結	C
			A		
190	野生動物侵入防止緊急支援事業費 豚熱、アフリカ豚熱等の家畜伝染病予防のため養豚場の周囲に野生動物侵入防止柵を整備 (侵入防護柵整備経営体数 4経営体)	農政	一致	直結	B
			A		